

推薦調書記入要領

1. 推薦候補者：「精密工学会フェロー制度に関する規程」（以後「規程」と記す）第1条にあるように候補者は顕著な業績を有することはもちろん、本学会正会員である（規程2条）とともに、規程6条の任務を負える現役で活躍している方であることをご理解願います。
2. 推薦者：推薦は、正会員による個人推薦とともに、学会関連諸組織にも推薦を依頼します。その内、正会員による個人推薦の場合は2名の正会員の推薦人が必要です。印は代表者のみで結構ですが必ず2名連名で推薦して下さい。組織の場合は組織長等1名で結構です。
3. 推薦理由：
 - (1) 分類；下記の推薦カテゴリーを設定しております。主にどのカテゴリーで推薦するのかを記載して下さい。該当するものが多い場合でも小分類は2つまでにして下さい。業績貢献の分類はA-1, A-2, A-3, B-1, B-2と表記して下さい。
 - A. 学術的活動や実用化技術開発などで卓越した業績を発揮した者
 1. 精密工学への学術技術貢献
 2. 精密工学の普及への貢献
 3. 特に産業界における精密工学の創造に貢献
 - B. 学会運営への積極的参画により本学会の発展に貢献した者
 1. 長期にわたる学会貢献
 2. 特別な専門活動や学会運営において顕著な貢献
 - C. 上記A, Bにまたがる業績貢献をなした者
 - (2) 経歴・業績；ここでは、経歴は主な職歴や委員会活動などを、業績は受賞歴や称号認定などを時系列で記入して下さい。
 - (3) 推薦理由；簡潔かつ客観的に記入して下さい。
 - * <参考> 推薦理由の目安として以下の事由などを考慮して下さい。分類A-3を除き、2項目以上該当するのが目安です。
 - 精密工学分野で評価の高い発明あるいは技術・製品開発があること
 - 精密工学会や権威ある外部の受賞実績や称号を受けていること
 - 学界的、社会的に評価の高い論文、著作、出版物があること
 - 学術交流や地域活動、教育活動などで本分野の普及に大きい実績のあること
 - 国際会議・大きな国内会議での組織委員長等を務めた経験があること
 - 専門委員会のリーダーとしてアクティブな活動と成果をあげ続けていること
 - 本学会の役員、支部長、各種委員会委員長等を務めた経験があること
 - 社会、本学会の発展に多大な功績があること
4. 添付資料
これは、特に必要としませんが、業績等を補強する上で推薦者が提出を希望する場合、最大A4サイズで3枚以内をお願いします。